クラシックを身近に

大貫小で音楽アウトリーチ

ソプラノとピアノ

生演奏に耳傾ける

○……プロの音楽家による少人数のミニコンサート……○
○……ト「音楽アウトリーチ」が9月21日、大崎市……○
○……大貫小学校（白鳥智之校長、児童数124人）で開かれ、仙台市のソプラノ歌手大河原……○
○……真歩さん、ピアニスト吉田彩さんの音楽ユニット「大吉」が本格的な音楽で児童たちを魅了……○
○……了した。

「蝶々夫人」を披露する大吉の2人

吉田さんは、いずれも今年が生誕200年にあたるドイツの作曲家シューマン（1810～56年）の「トロイメライ」、ポーランドの作曲家ショパン（1810～49年）の「幻想即興曲」などを演奏。ピアノ曲でも特に人気が高い幻想即興曲については「ショパン自身は作品を気に入らず、友人に『自分が死んだら楽譜を燃やして』と頼んだが、その友人が（ショパンの死後に）公開し、人気が出た」と説明した。

一方、吉田さんは、イタリアの作曲家プッチーニについて「日本など、あこがれを持っていた東洋の影響を受けた作品を数多く残している」と紹介。有名な作品のひとつ「蝶々夫人」を吉田さんの演奏で歌い、日本人女性と米軍人の悲恋を題材にした作品であることも述べた。

最後に2人は「音楽がなくても生きていけるが、寂しい人生になってしまう。音楽があると心が豊かになるので、これからもきれいな音楽を聞いてほしい」と語った。

音楽アウトリーチとは、クラシック音楽を身近に感じてもらおうと、音楽家が学校や福祉施設などに足を運び、音楽室やロビーなど小さな空間で生の音楽を聞かせたり、楽器などの話をしたりするもの。

同校は本年度、県文化振興財団（三浦俊一理事長）など主催の音楽アウトリーチ事業に初めて申し込み、実施校のひとつに選ばれた。この日は中学年（3、4年生）38人向けと、高学年（5、6年生）44人向けの2回に分け、内容も少し変えて行われた。

「夢は必ず叶う」

パラリンピック金メダリスト 狩野亮さんが講演

17日、リオーネふるかわ

バンクーバーパラリンピック・チェアスキーの金メダリスト、狩野亮選手（24）の講演会「夢は必ず叶う」が17日午後1時から、大崎市古川台町のリオーネふるかわで開かれる。体のハンディを乗り越えて世界の頂点に立った狩野さんが、夢を持ち続けることの大切さを熱く語る。入場無料。

自然の楽しさを子どもたちに伝える活動をしている大崎自然界部（若見朝子部長）が、「困難に打ち勝つためのヒント」を親子で考える場を提供しようと企画した。

狩野さんは1986年、北海道網走市出身。小学3年の時に交通事故で両足が不自由になり、車いす生活になった。その後、スキー指導員の父の指導で「チェアスキー」に取り組み、バンクーバーのスーパー大回転で金メダルに輝いた。滑降でも銅メダルを獲得した。

講演会を通じて、スポーツに親しんでもらうことも目的の1つ。講演を聴いた子どもには、楽天イーグルスの選手が練習で使ったボールを先着99人にプレゼント。野球帽やグローブなどの野球道具を身につけていることが条件で、受け付けの際に整理券を配布する。

また、会場では同部のスタッフが、心臓の難病に苦しむ埼玉県新座市の小学生、竹内義貴君（9）への募金を行う。

若見部長は「狩野さんの話は、障害者のイメージを明るく前向きなものに変えてくれるはず。夢を見つけるきっかけにしてほしい」と話している。

問い合わせは大崎自然界部事務局へ。電話0229（22）5330。

努力でハンディを克服した狩野さん

ひとこと言いたい!!

ブロックが得意

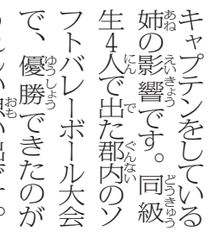
大衡小5年 熊谷涼香さん(11)

大衡やまなみ女子バレーボールスポーツ少年団に入っています。ライトのポジションで、ブロックが得意です。中学でもバレーを続け、高校で全国大会に出場するのが夢です。入団したのは3年生の時。きっかけは、今、仙台商業高校で女子バレー部のキャプテンをしている姉の影響です。同級生4人で出た郡内のソフトバレーボール大会で、優勝できたのがうれしい思い出です。

肝試し怖かった

古川第五小3年 森山りなさん(9)

いつもは入れない夜の学校で肝試しや工作をする五小の恒例イベント「風の子ナイツアー」に参加しました。先生やお父さんお母さん扮したお化けが出てくる肝試しは泣くほど怖かった！ クイズラリーは難しかったけど友だちと協力してできたので楽しかった。花火もきれいで、いい思い出になりました。来年も参加したいです。



素晴らしい作品に感動

古川地区夏休み創作展

古川ロータリークラブ（三塚義信会長）主催の「第34回古川地区中学生夏休み創作展」の表彰式が9月24日、大崎市古川の芙蓉閣で開かれた。入賞した大崎市内の中学生24人が出席し、賞状と記念品を受け取った。

夏休み創作展は、若者の創造力などを養うことを目的に古川地域の中学生と県立特別支援学校中等部の生徒を対象に社会奉仕団体の同クラブが毎年行っている。▽絵画▽デザイン・ポスター▽木工・工芸▽被服・手芸の4部門あり、今年は138点の作品が集まった。

厳正な審査の結果、24人の入賞者が決定。作品展は先月半ばに大崎市民ギャラリー・緒絶の館で開かれ、期間中は200人以上の人が訪れた。

表彰式で三塚会長は「どれも素晴らしい作品ばかりで感動した。2学期も始まったので、勉強もしっかり頑張ってほしい」とあいさつ。審査員を務めた古川南中の目々澤ゆかり教諭は講評で、「部活や宿題などで忙しい夏休みの中、完成度の高いものが目立った。作品は作者の思いが形になるだけでなく、見る人に感動を与えることができる。これからもものづくりに挑戦していってほしい」とエールを送っていた。

結果は次の通り。（敬称略）

【絵画部門】▽最優秀賞＝小野寺史花「蓮の花」（古川黎明3年）▽優秀賞＝谷地森愛花「ふるさとの風景」（同1年）、佐々木杜洋「風景画」（古川2年）▽会長賞＝大友真「自画像」（古川南3年）、佐藤光輝「夏の海」（古川北1年）、末永智也「家族旅行で行った海」（古川支援学校1年）▽大崎タイムス社賞＝曽根雅人「風景」（古川北1年）▽マイタウン古川賞＝千葉紘輝「蓮の花」（古川北1年）【デザイン・ポスター部門】▽最優秀賞＝佐々木駿「豊かな海は僕らが支える」（古川西3年）▽優秀賞＝遊佐莉帆「気づいて！悲鳴をあげているよ」（古川南3年）、後藤穂乃香「平面デザイン構成」（古川北1年）▽会長賞＝橋本朋京「花火」（古川支援学校2年）▽大崎タイムス社賞＝桜井悠輔「花畑」（古川黎明2年）▽マイタウン古川賞＝佐々木千種「交通安全ポスター」（古川東2年）【木工・工芸部門】▽最優秀賞＝荻原宏章「木苑ランプ」（古川2年）▽優秀賞＝佐々木駿「エコツボ」（古川西3年）、渡部友絵「鉛筆立て」（古川北3年）▽会長賞＝伊藤貴洋「ラック」（古川西3年）、手島朱里「本だな」（古川東1年）▽大崎タイムス社賞＝高田一輝「小物入れ」（古川東1年）▽マイタウン古川賞＝工藤僚平「本だな」（古川東1年）【被服・手芸部門】▽最優秀賞＝高橋志歩「Beads・art」（古川北3年）▽優秀賞＝入駒綾乃「布絵本」（古川東2年）、舘野結衣「エプロン」（古川西2年）▽会長賞＝武藤あゆみ「ふくろう」（古川南3年）、斉藤渚「仮面」（古川北2年）、林美穂「バック」（古川南3年）、阿部良子「フルーツいっぱいHAPPYウエディングケーキ」（古川3年）▽大崎タイムス社賞＝鎌田真由「ネコの小物入れ」（古川支援学校1年）▽マイタウン古川賞＝青沼千夏「キャミソールワンピース」（古川東2年）

緒絶の館で開かれた創作展

表彰式に出席した入賞者